

令和6年2月14日(水)

故きを温ねて新しきを知る

これは、今から 2500 年前の孔子の言葉の一つです。斎藤孝著の「こども論語」から紹介しています。

「どうして昔のことを勉強するの」？もうすんじやったことなんだから、どうでもいいじゃん」って思ったことないかな。

でも、勉強というのは、「温故知新」といって、昔の人が積み上げた知恵や知識を学ぶことなんだ。昔のことで今に残っているものは、今も価値があるからこそ残っているんだ。

自分が新しく思いついたと思っても、「ああ、前の人がやっていた」とわかることがある。だから、昔の人、先人のやったことをちゃんと学ばないとダメなんだ。その上で、今の時代のことも知れば万全だよ、と孔子先生は言っている。古いことをよく勉強して自分のものにすれば、ゼロからつくりだすより、もっとすごいことができるんだ。

孔子、ソクラテス、福沢諭吉、マザー・テレサ、、、昔の人が言っていたことをちゃんと勉強すると、いろいろなことが分かるようになってくる。そうすると、自分の思い込みだけじゃなくて、ちゃんとした知識になっていく。学ぶというのは歴史を知ることでもあるんだ。

昔のことを勉強するから、新しいことがわかるようになるんだ。